

【具体的データ】

表1 卵発生段階別噴霧試験結果(※鶏卵を孵卵器内で管理した場合)

	0日後噴霧			7日後噴霧			17日後噴霧		
	生卵	死卵	生残率	生卵	死卵	生残率	生卵	死卵	生残率
流動パラフィン群	0	21	0%	0	21	0%	0	21	0%
石鹼群	2	19	10.0%	0	21	0%	0	21	0%
対象群	20	1	95.2%	14	7	66.7%	16	5	76.2%

表2 ドローン等噴霧試験結果(※繁殖地のカワウ卵に流動パラフィンを噴霧し、約1カ月間観察)

調査地点	処理区	対象巣数	当初の卵数	調査完了時の雛羽数	生残率(%)	処理に成功した巣数
A区	ドローン 処理区	10	40	13	33	4
	ドローン 対照区	5	13	7	54	-
B区	ドローン 処理区	9	27	1	4	8
	ドローン 対照区	5	16	8	50	-
C区	手動噴霧 処理区	3	9	0	0	3
	手動噴霧 対照区	3	12	7	58	-
D区	手動噴霧 処理区	7	22	0	0	7
	手動噴霧 対照区	4	12	5	42	-

※A区の実施時の風速は5m/秒以上、その他は1m/秒程度

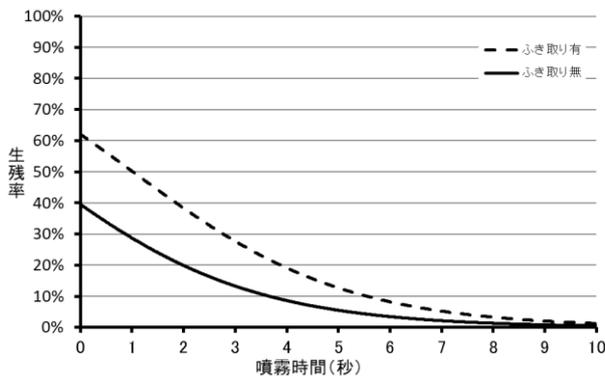


図1 噴霧時間と生残率の関係

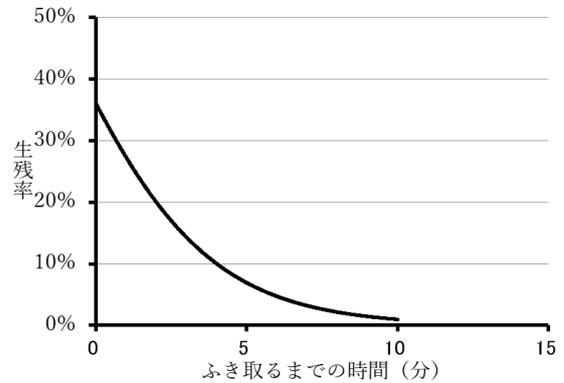
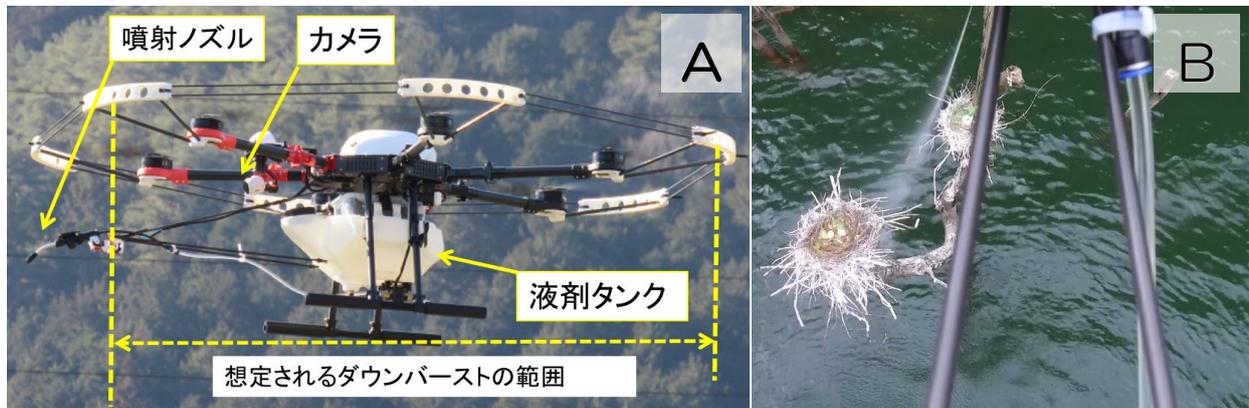


図2 ふき取り時間と生残率の関係



第3図 噴霧装置を搭載した大型ドローン (A) と噴霧状況 (B)